

笹巻の生産量増加と後継者問題




B2


林田昂也

松田光記

丸子翔大

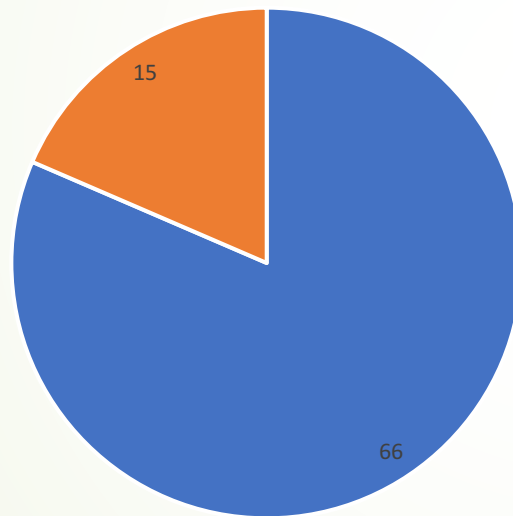


目次

- 笹巻の知名度
 - 笹巻の問題点
 - 笹巻の売り方の提案
 - 販売所・広報の提案
 - 後継者への提案
- 

笹巻の知名度

笹巻知名度

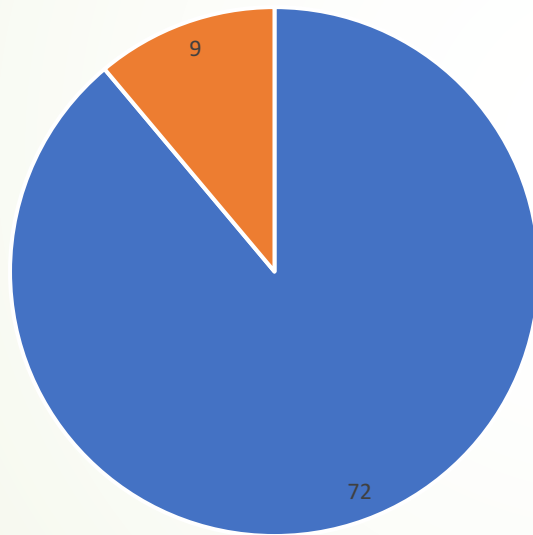


■ 知らない ■ 知っている

- ➡ 若い人への知名度は低く県外出身者は知っている人はいなかった。
- ➡ 山形県内の人のみ知っていたが全員が知っているではなかった。

笹巻を食べたことはあるか

笹巻食べたことあるか



■ 食べたことある ■ 食べたことない

- 先ほどと同じように県外出身者は食べたこともなかった。
- 県内出身者でも知ってはいいても食べたことある人は6人ほど減っていたことが分かった。

笹巻の問題点について

- アンケートを取った中でまず知っている人が少なかったため若年層の知名度を上げていかないといけないと感じた。
- 若い人の目につくところが少ないこと。
- 県内出身の人でも知らない人がいた。それ以上に食べたことがない人が多かったためまず県内出身者への普及が最優先だと感じた。
- 食べかたや食べる手間があるためその部分での改善点を見つけていかないといけない。

保存・継承の事例 1

- ▶ 北海道のいももちです。高速道路のサービスエリアや冷凍食品として売り出しています。最近ではスーパーにも置くことなどがあり知名度を上げたりしています。



保存・継承の事例 2

- 山形県のくじらもちです。スーパーや直売所、駅の売店などが売られています。最上地域の菓子店や土産店では必ずと言っていいほど置いてあるそうです。




笹巻の売り方への提案

- セット売りをすることをしたい。きなこ、笹巻、砂糖、合わせるための袋この4つでワンセットとして売ること。
- きなこだけの物と甘いものが好きな人ようにもう一つ黒蜜付きの笹巻も上記のセットのように売ること
を提案したいと思う。



販売所の提案

- ホテルのお土産どころ
 - 道の駅
 - 山居倉庫
 - 高校などの購買での販売
- 

広報の提案

- 酒田、鶴岡の小・中学校への給食などへの地元メニューとしての提供。
- SNSやホームページなどでの載せること。
- 山形県のニュースでの伝統品コーナーへの応募など。



後継者の提案

- 小学校、中学校への家庭科などでの制作の講習。
 - 地域の公民館などでの講習の実践
 - 道の駅での体験
- 